

科 目 名	心理療法技法論
単 位	2
教 員 名	大浦 真一
授 業 概 要	<p>この授業では、心理療法の理論の理解と対人援助のために必要な知識とスキルの獲得を目指す。</p> <p>まず、カウンセリングの基本姿勢についての基礎的知識を学び、必要に応じて実習を行うことを通して相手の話を受容的に聴く練習を行う。次に様々な心理療法の理論を学習し、それぞれの理論に則ったカウンセリングについて、時に実習を交えながら学習する。</p>
授業の目的・到達目標	<p>本講義は、次に掲げる目標の達成を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 相手の立場に立って話を聴けるようになる。 2) カウンセリングの基本的なスキルを用いて心理相談が出来る。 3) 各心理療法の理論を理解できる。
授 業 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 心理支援における基本的態度 3. 精神分析 4. 行動療法・認知行動療法① 5. 行動療法・認知行動療法② 6. 来談者中心療法 7. ブリーフセラピー① 8. ブリーフセラピー② 9. 評価シートを用いたカウンセリング 10. 複数人に対する心理支援 11. 身体志向の心理療法 12. トラウマに対する心理療法 13. 緊急時における心理支援 14. その他の心理療法とその理論 15. まとめ（心理療法の理論・技法を実生活に活かす）
予 習・復 習	<p>授業で配布されたプリントをしっかりと読み込んで、各心理療法の理論について理解を深めることが必要である。</p>
成績評価の基準	<p>授業への参加態度・実習への取り組み（リアクションペーパーへの回答を含む）30%、定期試験 70%。リアクションペーパーには、講義を通して学んだことや考えたこと、疑問に思ったことが具体的に述べられていることが重要である。</p>

教科書	①公認心理師ハンドブック 心理支援 編 ②浅井伸彦・杉山崇 編 著 (2024) ③北大路書房 ④ISBN:9784762832581 ⑤2970 円 (税込)
参考書	適宜紹介する。
備考・その他	積極的な授業参加を求める。トピックによっては、実習を取り入れる 場合もある。なお、実施する際には、必要な配慮はするので申し出る こと。